# 令和5年度（2023年度）モニタリングシート

| 施設名 | 千人町 学童保育所　第2クラブ |
|---|---|

| 視点 | | 評価項目 | | 6月 所管課評価 | 6月 所管課コメント | 6月 指定管理者自己評価（コメント） | 9月 所管課評価 | 9月 所管課コメント | 9月 指定管理者自己評価（コメント） | 12月 所管課評価 | 12月 所管課コメント | 12月 指定管理者自己評価（コメント） | 所管課期末評価 | 所管課コメント | 指定管理者自己評価（コメント） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設の管理・運営を安定して行うことができるか | 定量的 | 職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員 | 出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか<br>【日報】 | B | 配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。 | B<br>支援単位に合った適正配置を行っている | B | | B<br>自施設の適正配置を行ったうえで、他施設が配置不足の日には応援職員を派遣した。 | B | | B<br>支援単位に合った適正配置を行っている | B | | B<br>支援単位に合った適正配置を行っている |
| | 定量的 | 月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか | | B | 月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のミーティングノートや職員同士で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子ども達の詳細の状況を記録することで、全職員、全学童で情報を共有し保育につなげる取組みを行っている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>夜の延長保育担当者が日誌を作成。翌日のミーティング時に内容を確認。 | B | | A　育成日誌の裏面に、ミーティングノートを作成し、業務記録と保育状況、保護者対応がいつでも分かるよう変更した。 | B | | B　延長保育、土曜保育、学級閉鎖時などの第一クラブとの合同保育について第一クラブの記載内容と相違ないか照らし合せてから提出している。 |
| | 定性的 | 団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること | 管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか<br>【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】 | B | 適正かつ明確化が図られている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | | 延長利用料金の徴収は適正に行われているか<br>【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】 | B | 適正に徴収されている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>予約がなく朝の延長保育時間に登所した場合にはお迎え時に料金が発生している事をお伝えし、請求時に行き違いのないようにしている。 | B | | B<br>現金での支払いがあった場合には受領証を発行し、出納帳に記載。 |
| | | 収支計画が適正であること | 給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか<br>【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】 | B | 適正に執行されている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | 管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること | 児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか<br>【研修件名・内容】 | B | 応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。 | B<br>ブロック別保育実践研修に参加し、気になる子への対応について検討<br>職員研修（倫理、虐待予防）実施 | B | | B<br>応急救護研修に参加し、AEDの使い方などを確認した。 | A | 応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修を計画的に実施、参加している。また、法人の全所長が出席する全体保育実践研修では、「気になる子についてのケース検討会」を実施。実際に発生している現場の課題について、討議がなされている。討議された内容やアドバイスを基に次の保育活動に活かし、取り組んだ効果について、再び全所長で確認・検証するといった年間を通して職員の資質向上に取り組んでいる点を評価した。 | A<br>全体保育実践研修に参加し、子どもを多面的にとらえ、理解を深める、他施設での対応を学ぶことで、自施設の保育に役立てた。 | B | | B<br>SDGs研修に参加し学んだことを施設に持ち帰り、学童保育所でも取り組めることを再検討した。 |
| | | | 保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか<br>【事業計画書・日報・ヒアリング等】 | B | 安定かつ継続的な職員配置がなされている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | 施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか | 事業者の経営状況が健全な状態であるか<br>【確認資料例：財務諸表・財務評価表】 | B | 適正である。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | | 業務の一括委託が行われていないか<br>【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】 | B | 協定書で定める範囲内で非常通報装置等、業務の一括委託が行われている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| 施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか | 定量的 | 入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか | | B | 適切に処理されている。 | B<br>退所が出たことに伴う第一クラブからの転所要件に適切に対応した | B | | B<br>夏季休業中の長期欠席者への対応（欠席届、免除申請）を」適切に行った。 | B | | B<br>障がい児申請などの必要書類は学校交換便を利用し、迅速に対応した。 | B | | B<br>新入所児童には入所説明会の際に必要書類について丁寧に説明した。 |
| | 定性的 | 利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること | 開所日数、開所時間は守られていたか<br>【日報、月報・事業報告書】 | B | 開所日数、開所時間は守られている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | 施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか | 文書の管理・保存が適切に行われているか<br>【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】 | B | ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。 | B<br>文書保存年限表に基づき、適切に保管、管理 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>マニュアルに沿って適正に管理し、項目ごとにファイリングをしてキャビネットで保管している。 | B | | B<br>文書保存箱を使用し、保存期間の適正な管理に努めた。 |
| | | | 設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか<br>【事業報告書・実地調査】 | B | 職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。法人や市からの通知は個別にまとめて壁に見やすく掲出されており、常に最新版に更新されている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>玄関の鍵に不具合があり、修繕を実施。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | | 備品の管理が適切に行われているか<br>【備品台帳・実地調査】 | B | 適切に管理されている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| 施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか | 定量的 | 利用者の満足度3.0<br>【利用者満足度調査】 | | | | | | | | | | | A | 利用者の満足度は3．0以上である。 | B<br>オンライン回答を促進し、業務の効率化を図った。 |
| | 定性的 | 放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか | | B | 児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力して行い、放課後子ども教室開催時には積極的に参加している。 | B<br>放課後子ども教室へは毎日参加し、当番の方や学校と連携を取っている | B | | B<br>夕焼けチャイムの時間変更に伴う放課後子ども教室の開催時間変更や対応について、事前に確認した。 | B | | B<br>雨天時の室内での放課後子ども教室実施再開について運営団体と確認し、利用方法を保護者や子どもへ周知した。 | B | | B<br>三季休業中は、放課後子ども教室の見守り員が手薄になる事から、外遊びは声をかけて同時に行っている。 |
| | | 利用者からの苦情処理の体制がとれていること | 苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか<br>【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】 | B | 苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がされている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>相談には速やかに対応し、保護者にはその都度報告している。<br>苦情なし | B | | B<br>学童保育所を欠席していた日のトラブルや、第一クラブ在籍児童の保護者からの相談も可能な限り対応した。 |
| | | 利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか | 保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか<br>【おたより、連絡帳】 | B | おたよりやアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。 | B<br>個人面談を実施。情報交換を行った | B | | B<br>ドッジボール大会に多くの保護者が応援に来てくださった際には、子ども達の成長を共有し、コミュニケーションを深めた。 | A | 保護者会やおたより、アプリを活用し、保育活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。また、各行事において家族の参加や、イベント開催時は、保護者にも協力をいただくなど、保護者とコミュニケーションを深められるよう取り組んでいる点を評価した。 | A<br>がくどうまつりを開催。家族の参加や保護者のお手伝いも多くあり、一体となって行事を盛り上げた。ミニサッカー大会には多くの保護者が応援に来てくださり、子ども達の成長を共有し、コミュニケーションを深めた。ICTシステムを導入。本格始動へ向けて準備している。 | B | | B<br>お楽しみ遠足などの写真を、玄関に設置したモニターで流し、子ども達の様子を共有し喜んでいただいた。 |
| | | 学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか | 学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか<br>【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】 | A | 学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の講習を実施し保育活動の充実を図っている。 | B<br>地域のボランティアの方にお手玉を教わる「お手玉の日」を実施 | A | 引き続き、学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。法人枠を超えてのドッチボール交流大会の実施や、地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の講習を実施し保育活動の充実を図っている。 | A<br>夏休みに地域のお弁当屋さんのデリバリーランチを実施。昼食提供としても喜ばれた。ドッジボール大会に他業者を招き、交流の機会を設けた。 | A | 学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。また、キャンドルエ作でできあがった作品にクリスマスカードを添えて学校や保育園、地域にお届けするなど、地域団体や住民の方との関わりを大切にし、保育活動の充実に取り組んでいる。 | A<br>キャンドルエ作でできあがった作品にクリスマスカードを添えて学校や保育園、地域にお届けした。第一クラブと合同でスポーツプログラム事業を開催した。 | A | 学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。法人枠を超えてのドッチボール交流大会の実施や、地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の講習を実施し年間を通して保育活動の充実に取り組んでいる。 | B<br>元在籍児童の保護者の方による、歌と読み聞かせの会を開催した。 |
| 施設の運営において経理・運営が効率的な管理が行われ、費用の節減が図られているか | 定性的 | 資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること | 「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか<br>【ヒアリング等】 | B | 節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>ヒームスハンドブックを回覧し、各自でできることを再検討した。 | B | | B<br>図書館のリサイクル図書の配布で頂いた本を子ども達に紹介した。 | B | | B<br>問題なし |
| 事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか | 定量的 | 年間行事が事業計画どおり実施されているか<br>【行事計画書、行事参加者名簿】 | | B | 計画どおり実施されている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>社協学童キャンプ村、ドッジボール大会で他施設との交流を図った。 | B | | B<br>近隣の学童保育所とミニサッカー大会を開催。地域のサッカークラブの方も見学に来てくださった。 | B | | B<br>問題なし |
| | | 防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか | | B | 地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。 | B<br>第一クラブと合同で交通安全教室を実施 | B | | B<br>避難訓練、交通安全教室を計画通りに実施。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| 個人情報保護管理及び危機管理が図られているか | 定性的 | 個人情報の取り扱いが適切であること | 個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか<br>【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】 | B | 個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。 | B<br>個人情報関係書類は鍵のかかる書庫に保管し、二重施錠をしている | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | 緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること | 指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか<br>【保険証券】 | | | | | | | | | | B | 保険加入は適切である。 | B<br>問題なし |
| | | | 事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか<br>【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】 | B | 万が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。 | B<br>不審者対応について、職員ミーティングでマニュアルを使用して確認を行った | B | | B<br>夏休みを前に熱中症対策について確認。夏休みの遠足の前には保護者にも冷却タオルなどの準備などの協力を仰いだ。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>荒天時には1人帰りの児童もお迎えを要請。不審者情報などで子ども自身が不安を訴える場合などにも丁寧に対応した。 |
| | | | 事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか<br>【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】 | B | 事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。 | B<br>子どもが怪我をした際には原因を分析し、再発防止に努め、即時に事故報告書を提出 | B | | B<br>安全対策委員会取りまとめの「ヒヤリハットまとめ4・5・6月」を回覧し事故防止に役立てた。 | B | | B<br>日々のミーティングで前日の振り返りをし、ヒヤリハットの有無を確認。あった場合には報告し、対策を検討した。 | B | | B<br>他施設での事故報告書が配信・配布された場合には施設内で共有し、事故防止に役立てた。<br>遠足の前には打ち合わせ時に危険個所を確認した。 |

| | |
|---|---|
| 期末総合評価 | B |
| 所管課コメント | 市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。会計処理も適切であり問題はない。<br>社会福祉協議会は、学童保育所の管理運営を20年以上行っており、多くの施設を適切に管理・運営するためのノウハウが蓄積され、育成日誌をはじめとする帳票類の記載や各種マニュアルの更新も随時行われ整っている。<br>適正な職員配置における応援体制や、課題等が発生した場合、組織全体で対応・解決していくこと、保育行事、職員研修において法人枠を超えて近隣の学童保育所ともに実施する姿勢は公の施設を管理運営する意識が高く評価する。<br>本施設は、学校敷地内に設置されており、隣接の千人町第一クラブと連携を取りながら、安定した保育に努めている。<br>今後も保護者、学校、地域をはじめとする関係機関と良好な関係を築き、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育の運営を期待する。 |